

\*秋らしくなってきました。コロナも落ち着きそうですが。。。皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

////////////////////

- ・ISO情報……………ISO14075(ソーシャルLCA)とISO59014(二次材料)の進捗
- ・LCAFからお知らせ…[再掲]2021年9月21日(火)・22日(水)のオンライン初級研修
- ・会員の皆様の近況……これからはこのコーナーを充実させたいです。
- ・編集後記……………ワクチンパスポートと敬老の日

■■ ISO情報 ISO14075 (ソーシャルLCA) ■■ —————

8月30日(月)～9月1日(水)の夜に、ISO14075(ソーシャルLCA)の第2回目のワーキンググループ会合がオンラインで行われ、最初のワーキングドラフトを作る作業が始まりました。議長のドイツのアーヘン大学の女性教授を含め欧州を中心に17～18名の参加者です。アジア勢は、インドネシア、中国、シンガポール、日本です。

この規格は、TC207の範囲が環境から持続可能性(Sustainability)に広がったのを受けて提案されたと思います。サステナビリティを構成する環境・経済・社会の3つの柱を考えると、「環境にはISO14040と14044」、「経済にはライフサイクルコストング」があるので、「社会」に関する新しいLCAが必要という認識だと思っています。ところが、「ISO14040と14044は社会性を含んでいる」というデンマークのBo Weidamaの発言で、ISO14040と14044を「環境のLCA」と呼ぶことができなくなりました。Bo WeidamaはISO/TC207のLCAが始まる前からのLCAの重鎮で、「コンセクエンシャルLCA」の提唱者でもあります。コンセクエンシャルLCAは、社会の需要の変化が市場に反映した結果として考え得るシナリオに基づいてLCAを実施します。したがって、ISO14040と14044にはすでに社会の変化を考慮する視点が含まれているという理解だと思っています。私は、以前からコンセクエンシャルLCAについてBo Weidamaと議論してきましたので、彼の発言はよく理解できます。が、「社会性」だけを議論してきたワーキンググループのメンバーには理解することが困難だったと思います。ISO14040とISO14044を「環境のLCA」と呼ばずに、これらを基礎にして「ソーシャルLCA」の新しい規格を作成することになりました。言葉使いの問題です。

ワーキンググループのメンバーの多くは、UNEP(国連環境プログラム)のライフサイクルイニシアチブで2020年に発効した「Guideline for Social life Cycle Assessment of Products and Organizations 2020」のメンバーです。私もこの前の2013年のバージョンの時は参加していましたので、大体の様子はわかります。メンバーのもう一つのグループが、Simaproの創設者であり、エコインデイクータなどの環境影響の方法をリードしてきたオランダのMark Goedkoopや民間企業が設立した「The roundtable for Product Social Metrics」のメンバーです。2020年に「Handbook for Social Impact Assessment」を発行しています。この二つの文書が、新しいISOの下敷きになると思います。私も今勉強中です。

■■ISO情報 ISO59014(二次材料)の進捗 ■■ —

8月23日(月)～8月26日(木)の夜20:00～23:00にISO59014(二次材料)のワーキンググループ会合がオンラインで行われました。私は、同日の21:00～24:00に行われたISO14068(カーボンニュートラリティ)のワーキンググループ[LCAF通信No.32を見てください]に参加したので、毎晩20:00～21:00まで1時間だけ様子を見るという状況でした。

この規格は、LCAF通信No.28に書きましたが、たとえば廃棄された電気電子機器から二次金属を生産する時の、途上国での児童労働などの社会側面の問題に対応するため、世界的な企業はトレーサビリティに注意しなければならないという規格を作るのだと思っていたのですが、TC207だけではなく、TC323(サーキュラーエコノミー)とのジョイントワーキンググループになったので、サーキュラーエコノミーのグループの意見が強く反映される形で進んでいます。私は、再生材料の製造だけを書けばよいと思うのですが、リユースなどもう一度製品として使うた

めの取り扱いも入ってきています。TC323の本体の規格との重複が気になります。エキスパートが書くワーキングドラフトから、各国の意見を出すCD(コミッテイドラフト)になった段階で、多くの議論が出てくるように思います。

#### ■■ LCAFからのお知らせ ■■

○2021年9月21日(火)・22日(水)に

オンライン研修「速攻：初歩のLCA」& 特別講義「カーボンニュートラルリティと削減貢献量」を開催します。「速攻：初歩のLCA」は教科書が必要です。郵送する時間が必要なので、すでに申し込みを締め切りました。しかし、特別講義は教科書を必要としないので、こちらだけご参加希望の方は急いで [member@lcaf.or.jp](mailto:member@lcaf.or.jp) にご連絡ください。9月22日(水)10:50~12:10です。  
<https://lcaf.or.jp/lcaf-workshop202109.html>

#### ■■ 会員の皆様の近況 ■■

○関西大学 中寫道靖先生からです。

実は調査で、PCR検査をして、この9月に沖永良部島に行きました。(受入先の了解も得て)美しい自然、海で別世界でしたが、浜の清掃を3年以上、毎日(朝15分)、続けている家族(小学生の高学年以下、3名とお父さん)の話をお聞きしました。

体験で朝5時半に浜に集合して一緒にやってきました。まあ多くのゴミ、大きなものから小さなもの、基本、浮遊物ですので、プラスチックなどが多いです。中には注射器や注射針、ガスの入ったガスボンベもあるそうです。毎日掃除をしないと、ゴミの浜になるようです。本当に毎日続けているの?という疑問がありましたが、子ども達が発起して、無理なく続けるということで、子ども達で話し合っ、本当に続けてくれているようです。

また、集めたゴミのゴミ袋代も子ども達が出しているようです。この秋学期の環境会計論の授業で紹介して学生たちと一緒に考えたいと思います。

#### ■■ 編集後記 ■■

○ニューヨークのブロードウェイの劇場が再開されたそうです。楽しむためにはワクチンパスポートが必要だということです。日本はまだワクチンの接種方法の報道ばかりで、接種後の議論にならないのがへんだなあと思います。いつになったらワクチンパスポートの話になるのでしょうか? この先もマスクとソーシャルディスタンスだけでしょうか? 毎年行っていた先輩方との飲み会がずっと延期になっています。コロナのはじまりの時に計画されていた私の退職記念懇親会も延期のままです。あと半年で2年ですよ。飲み会だけでもできるようになると良いのですが。

○今日は敬老の日です。私も敬われる方の一員ですが、まだまだガンバルゾーと思っています。彼岸花も咲き秋になりました。今年度もあと半分です。もう一度、ガンバルゾー!

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで  
[lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1

インフィニティ池袋 8F52

電子メール: [lcaf-contact@lcaf.or.jp](mailto:lcaf-contact@lcaf.or.jp)

URL: <https://lcaf.or.jp/>